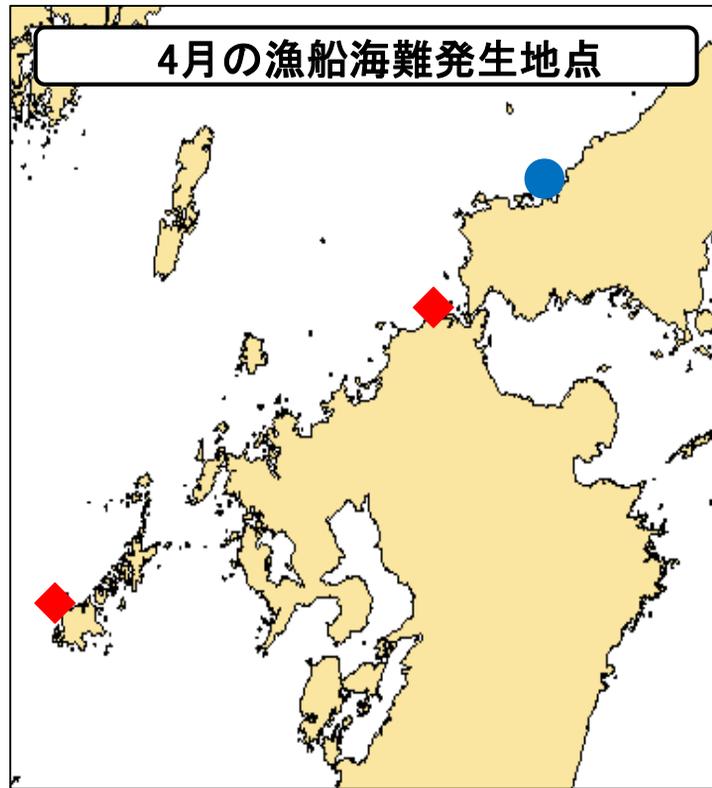


令和2年4月
七管内漁船海難 計3隻

令和2年4月累計26隻(前年33隻)

漁船海難発生累計件数は前年に比べ7隻減少

漁船海難隻数 (速報値)		県別内訳	
		4月	令和2年累計
運航不能 (無人漂流) ◆ 2		山口県	1 3 (4)
		福岡県	1 7 (7)
浸水 ● 1		佐賀県	0 2 (3)
		長崎県	1 9 (13)
		大分県	0 5 (6)
合計 3隻 (前年 10隻) 死亡、行方不明者:1件		合計	3隻 26隻 (33隻) (○は昨年同月)



県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。

令和2年5月1日現在、累計死亡・行方不明者数:7名

<事故事例(海中転落)>

A丸船長は、操業中、何らかの要因で海中転落し、発見されましたが、その後、死亡が確認されました。

A丸船長は、一人で操業しており、救命胴衣は着用しておらず、また、家族に帰る予定時間を伝えていませんでした。



- ・出港する際は必ず家族等に予定を伝えましょう!
- ・航行中、操業中は必ず救命胴衣を着用しましょう!

- ・家族や友人に『何時までに帰る』『どこに行く』といったことを伝えておくことで、あなたの異変に早く気づくことができます。
- ・救命胴衣を着用していれば、浮いて救助を待つことができ、生存率が高くなります。

